
CentreCOM 3726XL用拡張モジュール

AT-A10/AT-A11

インストールレーションガイド

このたびは、AT-A10/AT-A11をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
本製品は、CentreCOM 3726XLの拡張モジュール用スロットに装着して、アップリンクポートとして使用するための拡張モジュールです。
AT-A10は、10BASE-T/100BASE-TXポートを1ポート、AT-A11は、100BASE-FX (SCコネクタ)ポートを1ポート装備しています。
本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、CentreCOM 3726XL本体のマニュアルもあわせてご覧ください。

マニュアルバージョン

1999年 4月 Rev.A 初版

ご注意

本書の中に含まれる情報は、当社(アライドテレシス株式会社)の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
当社は、予告無く本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。
また、改良のため製品の仕様を予告無く変更することがあります。

Copyright アライドテレシス株式会社 1999

商標について

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。
本マニュアルの中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

使用上のご注意

本製品(CentreCOM 3726XLを含む)を安全にご使用いただくために、以下の事項を必ず守ってください。

これらの事項が守られていない場合、感電、けが、火災、故障などの原因となる恐れがあります。



分解禁止

分解や改造をしない

拡張モジュール用スロット以外のネジで固定されているパネルやカバーを開けたり、部品を変更して使用したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電や発火のおそれがあります。



感電注意

雷発生時には装置にさわらない

雷発生時には、本体、および電源ケーブル、接続ケーブルなどにさわらないでください。雷発生時に本体、ケーブル類にふれると感電のおそれがあります。



禁止

指定の電源電圧以外を使用しない

本製品同梱の電源ケーブルの電源プラグは、AC100V、50/60Hzのコンセント以外には差し込まないでください。また、タコ足配線をしてください。他の機器と併用すると、分岐コンセント部の発熱による発火や感電のおそれがあります。なお、本製品の定格電源はAC100-120V/AC200-240V、50/60Hzとなっています。



指示

正しい電源ケーブルを使用する

日本国内などAC100V、50/60Hzの電源電圧で使用する場合は、本製品同梱の電源ケーブルを使用してください。不適切な電源ケーブルを使用すると、異常な発熱や発煙および本体故障の原因となるおそれがあります。



指示

通気口をふさがないように設置する

本製品の通気口をふさがないように設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。



禁止

電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源ケーブルを傷め、火災や感電のおそれがあります。



プラグを
抜く

異物が入ったら電源プラグを抜く

万一、異物(金属片、水、液体)が内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

不適切な場所に設置や保管をしない

次のような場所に設置や保管をしないでください。火災や感電の原因となることがあります。

- ・高温、多湿の場所
- ・火気のある場所
- ・直射日光があたる場所
- ・ホコリが多い場所
- ・振動が激しい場所
- ・腐食性ガスの発生する場所

ご使用いただける環境の範囲は次の通りです。
温度 0 ~ 40 湿度 80%以下(結露なきこと)



プラグを
抜く

設置や移動のときは電源プラグを抜く

本製品を設置、および移動する場合は、接続されている装置の電源スイッチを切り、本製品の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源ケーブルが傷つき、火災や、感電の原因となったり、装置の落下などによりケガの原因となることがあります。



光源注意

光源をのぞきこまない

光ファイバケーブルの端面やモジュールのLEDアタッチメントなどを直視しないでください。これらは強力な光源を使用していますので、目を痛めるおそれがあります。



禁止

本体の上にものを置かない

本体の上に金属類を置かないでください。開口部(通気口など)から内部にクリップやホチキスの針のような金属類が入り込むと、本体内部がショートし、火災や感電の恐れがあります。また、本体の上に花瓶、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。



指示

本体ボディのお手入れ

本体ボディのお手入れは、柔らかい乾いた布でふいてください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤をふくんだ布でふいた後、からぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

1 はじめに

梱包内容の確認

最初に梱包箱の中身を確認して、以下のものが入っているかを確認してください。

AT-A10/AT-A11(どちらか1台)

取り付け用ネジ(3個)

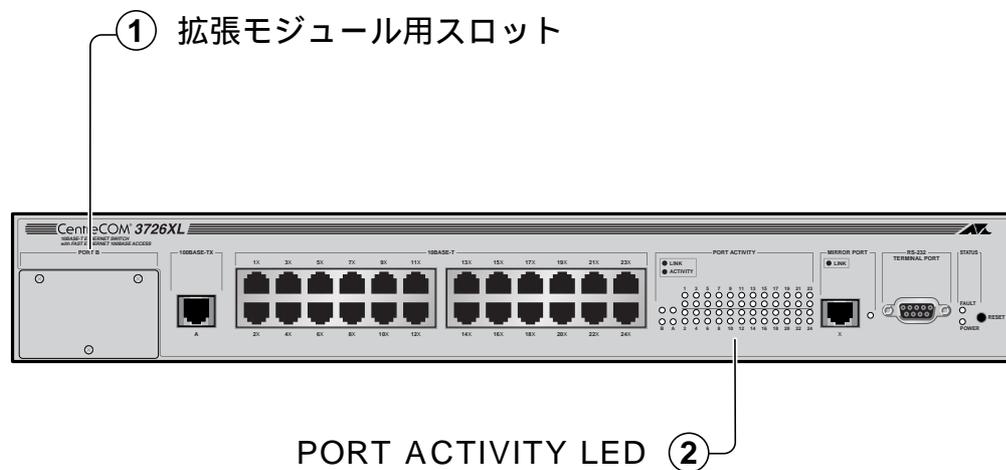
製品保証書(3年保証)

お客さまインフォメーション登録カード

シリアル番号シール

インストラクションガイド(本書)

本体(CentreCOM 3726XL)の前面



拡張モジュール用スロット

100BASE-TXまたは100BASE-FXの拡張モジュールを装着するためのスロットです。標準装備では、カバーパネルが取り付けられています。ポート番号は、ポートBとなります。(ソフトウェアのメニュー画面では、ポート27となります。)

PORT ACTIVITY LED

ポートの状態をモニタするためのLEDインジケータです。

2 拡張モジュールの概要

各拡張モジュールの概要を説明します。

AT-A10

AT-A10は、10Mbpsと100Mbpsを自動認識する100BASE-TXポートを1ポート装備しています。

項目	仕様
外形寸法	61 mm (W) x 39 mm (H) x 83 mm (D)
重量	55 g

LED表示

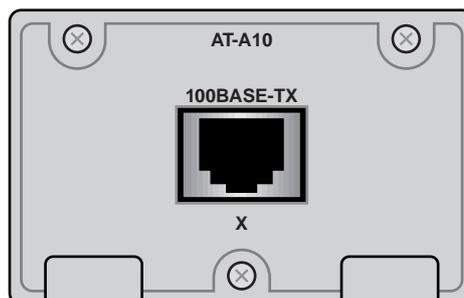
本体前面 PORT ACTIVITY LED のポート B に表示されます。

LEDの名称	色	状態	内容
LINK	緑	点灯 消灯	接続機器とのリンクが確立しています。 接続機器とのリンクが確立していません。
ACTIVITY	緑	点灯 消灯	パケットの送受信が行われています。 パケットの送受信が行われていません。

仕様

UTPポート(10BASE-T/100BASE-TXポート)の仕様です。

項目	仕様
通信方式	IEEE 802.3 10BASE-T/IEEE 802.3u 100BASE-TX
コネクタ	RJ-45
通信速度	100Mbps/10Mbps(自動検出)
通信モード	Auto negotiate(デフォルト)/Full duplex/Half duplex
ケーブル	UTPカテゴリ5(10BASE-Tの場合は、UTPカテゴリ3以上)
最大ケーブル長	100m



AT-A10

2 拡張モジュールの概要

AT-A11

AT-A11は、SCタイプの光コネクタをもつ100BASE-FXポートを1ポート装備していません。

項目	仕様
外形寸法	61 mm (W) x 39 mm (H) x 83 mm (D)
重量	55 g

LED 表示

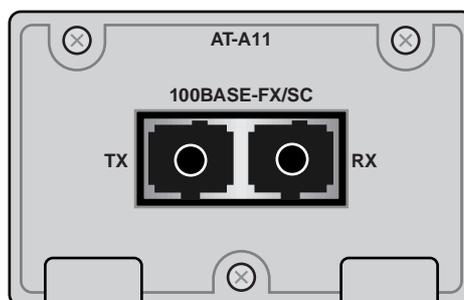
本体前面 PORT ACTIVITY LED のポート B に表示されます。

LEDの名称	色	状態	内容
LINK	緑	点灯 消灯	接続機器とのリンクが確立しています。 接続機器とのリンクが確立していません。
ACTIVITY	緑	点灯 消灯	パケットの送受信が行われています。 パケットの送受信が行われていません。

仕様

100BASE-FX ポートの仕様です。

項目	仕様
通信方式	IEEE 802.3u 100BASE-FX
コネクタ	SC 2芯
通信速度	100Mbps
通信モード	Full duplex (デフォルト) / Half duplex
ケーブル	50/125 μ m または 62.5/125 μ m マルチモード光ファイバ
最大ケーブル長	400m (Half duplexモード) 2000m (Full duplexモード)



AT-A11

3 拡張モジュールの装着手順

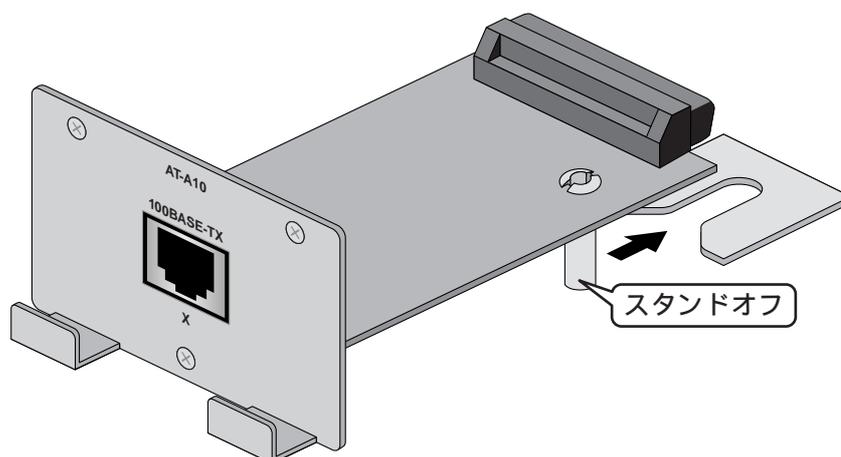
⚠ 警告

拡張モジュールの取り付け・取りはずし作業は、必ず、本体の電源ケーブルをぬいて、電源を切ってから行ってください。感電のおそれがあります。

⚠ 注意

拡張モジュールは、静電気に非常に敏感な部品を使用しています。静電気によって、電子部品が損傷するおそれがありますので、取り扱いの際は、アースストラップを使用するなどの静電防止対策をして、ポート部分にはできるだけ手を触れないようにしてください。また、保管するときは、拡張モジュールが梱包されていた静電防止袋に入れて、静電気のある場所を避けてください。

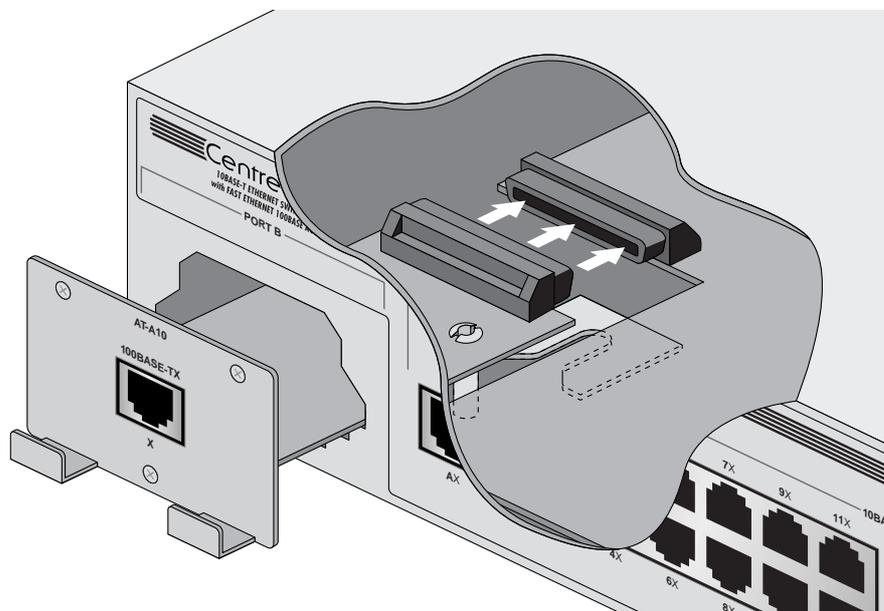
1. 本体の電源ケーブルを抜きます。
2. 本体前面拡張モジュールスロットのカバーパネルのネジをドライバではずして、カバーパネルをはずします。
3. 拡張モジュールのスタンドオフを確認します。スタンドオフは、ボード部分が地面に直接触れるのを防ぐだけでなく、拡張モジュールを拡張モジュール用スロットの溝に正しく差し込むためのガイドの役割をします。



4. スタンドオフの位置を確認しながら、拡張モジュールをスロットの溝にあうように差し込みます。このとき、ボード部分には手を触れず、パネルの取っ手を持って行ってください。

3 拡張モジュールの装着手順

5. 拡張モジュールのコネクタ(50pinメス)が本体側のコネクタ(50pinオス)に正しく接続されるように、拡張モジュールを押し込みます。



6. 同梱の取付用ネジを3カ所あるネジ穴に入れて、ドライバでネジを締めます。カバーパネルを取り付けてあったネジは使用しないでください。
7. 拡張モジュールが本体に固定されたことを確認します。
8. 電源ケーブルを接続します。
 CentreCOM 3726XL ハードウェア設置マニュアル 2-8 ページ 「起動と停止」
9. 以上で、拡張モジュールの装着が完了しました。

拡張モジュールを取りはずす場合は、ネジをドライバではずし、パネルの取っ手を持ってゆっくり引き抜きます。
拡張モジュールを装着していないときは、拡張モジュール用スロットにカバーパネルを取り付けておいてください。